

令和6年第12回加西市教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|---------------|---------|
| 1 | 開会日時 | 令和6年12月24日（水） | 14時00分 |
| 2 | 閉会日時 | 同 日 | 15時26分 |
| 3 | 開催場所 | 市役所1階 | 多目的ホール |
| 4 | 出席者 | 教 育 長 | 菅 野 恭 介 |
| | | 委 員 | 中 川 和 之 |
| | | 委 員 | 楠 田 初 美 |
| | | 委 員 | 深 田 英 世 |
| | | 委 員 | 荒 木 努 |

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
次長兼教育総務課長	井 上 英 文
学校教育課長	小 坂 卓 司
こども未来課長	阿 木 博 信
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄一郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき
学校再編室（学校再編推進員）	吉 村 靖

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

- 6 付議事項

議案第31号 令和7年度教育の重点の策定について

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名
なし

8 質問及び討議の内容

議案第 31 号 令和 7 年度教育の重点の策定について

(次長兼教育総務課長の説明) 令和 7 年度教育の重点を別紙のとおり策定したいので、委員会の議決を求めます。教育の重点は「加西市教育振興基本計画」の概要版として位置づけをされており、広く市民の方に加西の教育を理解していただくため、またそのよさをアピールするため毎年策定しているものでございます。第 3 期「加西市教育振興基本計画」は令和 3 年度からスタートし、令和 7 年度は計画の 5 年目、最終年度となります。

事前に送付させていただいた資料から教育委員より助言をいただき、少し修正を行いました。今回の内容の主な変更箇所を説明します。まず、教育の重点の 1 ページ目には、昨年掲載した「計画策定の趣旨」ではなく、「教育の基本理念」と「3 つの基本方針」を掲げました。続いて、2 ページ目には、加西市教育委員会が魅力ある加西市の教育の実現を目指し掲げている「加西の教育 3 本の矢」をとおして、「3 C 次世代型人材」の育成に務めており、「加西 BASE」、「加西 STEAM」、「加西 GLOBAL」についての記載を加えております。

3 ページから 6 ページの「基本方針 1、幼児期の子育て支援の充実」、「基本方針 2、主体的に自立しようとする子どもの教育の充実」、「基本方針 3、生涯にわたる学習の充実」については、文章に少し表現を修正している箇所もありますが、内容は大きく変えていません。最後のページに、「教育・保育施設連絡先一覧」がありますが、認定こども園・小規模保育所においては認可された順番に記載順を並べ替えております。その下に、今回の教育の重点に用いた写真が何を示している写真かがわかるように、コメントを記載しました。

教育委員の質問と回答

- ・ 1 ページ目にやってきた業務について教育の理念ということで、今までは経緯が書かれていたのですが、これで見やすくなったのではないかと思います。基本的には第 3 期教育振興基本計画が 7 年度までということなので大きな変更はございませんが、これでいいと思いますのでよろしくお願いします。

(次長兼教育総務課長の回答) ありがとうございます。

(教育長の回答) 委員の皆様からいただいたご意見につきましては、事前にもたくさんいただいておりまして、修正をしております。これからもこの重点に沿って令和 7 年度の教育を進めてまいりますので、それぞれご意見をいただければ幸いです。

9 議決事項

議案第 31 号 令和 7 年度教育の重点の策定について

原案どおり可決

10 報告事項

教育長

別紙の資料をご覧ください。主なものを報告します。

ふれあい伝統フェスティバルが、11 月 23 日に播磨農業高校で行われました。いろいろな団体が出演していました。狂言グループの子どもたちも出演して、いいフェスティバルになったと思っています。それから、同日午後からは加西 STEAM フェスということで、こちらも兵庫教育大学をはじめたくさんの学生の皆さん、そして下里小学校の三ツ星カレーなどなど、関係の方がフェスを盛り上げるために頑張ってください、すばらしいフェスになったと思っています。

中央公民館まつりは 11 月 23 日から開催され、24 日には舞台発表が行われました。

続いて、永年勤続教員表彰式が勤続 20 年ということで、加古川市民会館にて行われました。随分、時代が変わってきたなと思うのは、永年勤続と言いながら挨拶の内容は「ちょうど皆さん折り返し地点ですね」という挨拶だったことです。今後、定年も延び、教員生活が本当に長くなっていきます。その中で今、いろいろ言われている働き方改革も含めて、長く勤められる環境づくりが大事だなと思っています。

続いて、アスリートファーマーズ加西よりお米の寄贈式が行われました。毎年行っているのですが、加西市のアスリートファーマーズという有志の方がこども園にお米を寄贈していただいているものです。

11 月 29 日には、安全・安心のまちづくり市民大会が行われ、今回は主に交通安全を中心にお話をいただいています。

そして、楽しく学ぶ自転車ルールと救命救急体験は、女性団体連絡協議会のほうで 12 月 1 日に行っていただいています。

12 月 6 日には、特別支援学校でわかばフェスティバルがありました。みんなとても元気に頑張っていました。

12 月 14 日には、ネットトラブルから子どもを守る市民研修会がありました。今のネットトラブルについて、私たち大人にはなかなかわからない中で子どもたちが生活しているということ、そして SNS 等を使うことの危険性について篠原さんに力強く話をいただきました。特に印象に残ったのは、小さい子どもから中学生ぐらいまでの子どもたちがネット——特に SNS やゲーム等に没頭すると、脳の成長に悪影響が出るという研究結果が報告されているそうです。そういう衝撃的な報告もあり、子どもた

ちに SNS やゲームなどをどのようにさせていくかというのは、非常に難しい課題だと思っております。ただ、法的にオーストラリアのように、一律に 16 歳未満を禁止するというのは、なかなか日本では難しいようですので、教育の中で子どもたちにしっかりとそういう話もしていかなければいけないと思いました。

それから、12 月 15 日は「加西市 公民館のつどい」ということで、4 公民館が集まって公民館まつり等の集大成ということで行っています。これについては落語家の露の都さんのお話があり、これがまたとても上手でさすがプロだなと思ったところです。

最後に、泉統合小学校の開校準備委員会については、また学校再編室のほうから説明があると思います。

教育委員の感想

- ・ 12 月 6 日に加西特別支援学校で開かれたわかばフェスティバルに、教育長とともに参加しました。午前中の学習発表会では、小学部、中学部、高等部の子ども 1 人 1 人の個性、特性を踏まえながら活躍できる場面を先生方が工夫されていました。子どもたちも一生懸命に取り組んでおり、中には笑いを取るような劇もしてくれて、子どもたちの成長、ふだんの生活の充実をとっても感じました。

教育部長

12 月の定例議会について報告します。昨日、12 月定例議会の最終日が終わり、議案、補正予算等が可決されたところです。教育委員会から上程した議案は今回ございません。一般会計の補正予算で、教育委員会からは私立の認定こども園の遊具費の増額、現在、整備中の泉統合小学校の工事費、バスの購入費用の増額、学校振興費の謝礼の組替え等を予算計上しております。議案に伴う質疑等、市政全体にわたる一般質問につきましては、事前に各委員にご案内したとおりです。

学校教育課長

まず 11 月 23 日にアスティアかさいで、第 4 回 STEAM フェスティバルを行いました。実はあらかじめ申込みを募っていたのですが、直前までなかなか申込者が埋まらず、心配をしていました。結局は当日参加の方も多く、盛況のうちに終わっています。また、下里小学校の三ツ星カレーも、昨年は 200 食を準備していましたが、足りなかったもので、今年は 250 食に増やしました。こちらも完売したと聞いております。大変いい会となりました。

12 月 6 日は特別支援学校のわかばフェスティバルが行われました。教育委員からもありましたとおり、本当に子どもたちの活躍の場として定着しておりまして、見に来てくださる方がいつも感心して帰られています。

それから、前回の定例教育委員会でも、教育委員から泉小学校の音楽会の報告がありました。それ以降、ほかの小学校でも音楽会が行われまして、どの会も盛況に終わったようで、大変よい発表会だったと聞いております。ご参加いただきました委員の皆様には、お礼申し上げます。ありがとうございました。

明日 12 月 25 日は、全ての小・中・特別支援学校での終業式になります。残念ながらここ数日、ニュース等でも報道されていますインフルエンザがはやっており、市内でも例えば今日は五つの小学校で学級閉鎖もしくは学年閉鎖、それから中学校でも一つの学校で一つの学年閉鎖、それから特別支援学校に至りましては、昨日と明日は学校閉鎖をしております。

3 学期は 1 月 7 日が始業式です。実質は 12 日間の冬休みにあさってから入ります。子どもたちにとっては少し短い休みなのですが、職員にとりましては新年 1 月 1、2、3 日が平日で土日と全部重ならないので、引け目なくお休みできることと思います。

こども未来課長

まず、令和 7 年度施設別入所申請状況についてご報告します。ゼロ歳児の申込みは 71 名、1 歳児が 159 名、2 歳児が 188 名、3 歳児は 208 名、4 歳児は 225 名、5 歳児が 245 名、トータルゼロ歳児から 5 歳児は 1,096 名の 1 次申込みで前年度比マイナス 72 名という状況になっています。これは 1 次ですので内定通知を送った後に、2 次、3 次の受付をするという状況です。

続いて、令和 7 年度学童保育園入園申込みについてご説明します。11 園ありますが、1 年生の 1 次申込みは 146 名、2 年生が 122 名で、3 年生が 113 名、4 年生が 54 名、5 年生は 18 名、6 年生が 8 名、トータルで 461 名の申込みがあり、対前年度比プラス 10 名という状況です。

続いて、賀茂幼稚園の保護者会についてご説明をします。令和 6 年 12 月 19 日に第 3 回保護者会を開催しました。結果として、当日参加者はおられませんでした。当日はアンケートで寄せられた意見についての回答及び教育委員会としての賀茂幼稚園の今後についての方針をご説明する予定でしたが、ご参加がなかったので、資料は昨日、園児を通じて保護者に配布し、教育委員会としての方針はお伝えをしています。今後の予定は、特に反対意見もなく、保護者会にはおおむね教育委員会の方針にご了承いただけたという理解をしまして、年明け以降に地域へご説明し、進めていきたいと思っています。

教育委員の質問とこども未来課長の回答

- ・賀茂幼稚園の地域の方に報告するのは、どういう機会や集まりでされるのですか。
(回答) 区長会等に出向いてご説明をさせていただくということになろうかと思いま

す。1月で区長さんもお代わりになられると思いますので、その状況なども見ながら区長会にご説明ということで考えています。

- ・区長会に持っていくのであれば、保護者の意向、保護者の思いを伝えないと、納得しないかも知れないので、まとめられたほうがいいと思います。うちの地区では保護者の意向を説明すると、保護者が言っているのなら、それでいいと言われる方が多いから、意向をしっかりとまとめて話されたほうがいいと思います。

- ・泉学童について、令和8年度に泉統合小学校がスタートするということで、泉学童保育は定員60名の規模ですが、今、4小学校を集めて85人も申込みがあります。整備等についてどのように考えているのか教えていただけたらと思います。

(回答) 空き教室も、学童の部屋として一体的に整備をするという方針で動いております。将来的には統合後も人数が減少していくという前提ですので、新たな施設を建てるのではなく、今の学校の中の教室も使わせていただくことで、児童数が減ったときにも、夏の需要が増えたときにも対応できるだろうという考え方でおります。

- ・幾つかの学童保育で定員がオーバーしていますが、それはどのようにしていく予定でしょうか。

(回答) 北条学童と北条東学童が定員オーバーになっています。北条東学童は来年度学校の集会室を改修して、学童専用棟を設ける方向で予算の要求をしています。北条学童も整備の必要等がありますが、ここはハード整備をすぐにはできないので、検討課題として考えさせていただきたいと思っております。

生涯学習課長

12月15日の公民館のつどいをもちまして、公民館まつりなど公民館で行う大きな事業が終わりました。教育委員の皆様には足をお運びいただきまして、ありがとうございました。

市民教養講座「スマートフォン講座～スマホで始めよう！防災の備え～」について報告いたします。生涯学習課では市民教養講座としてデジタルデバйд解消の取組みとして、令和3年度から毎年スマートフォン講座を開催してきました。初年の令和3年度はスマートフォン未使用者の方に向けて、スマートフォンに怖がらず触れるという内容で行い、毎年少しずつ段階を踏む形で講座を企画してきました。

今年は1月に能登の地震がおきましたが、最近は災害が多く起きています。そういう災害時にもスマートフォンでできることがあるということで、4回目の今年は、スマートフォンの便利なアプリを使って防災の備えをしましょうというテーマの下、体験講座を開催します。1月28日が中央公民館、2月4日が南部公民館で実施します。

12 月 2 日から申込みを開始しましたが、残念ながら今のところ、定員に達していない状況になっておりますので、各公民館かしの木学園などでもう一度周知し参加者を募りたいと思っております。

教育委員の質問と生涯学習課長の回答

- ・この防災アプリはどんなアプリなのか。今は「かさいライフナビ」がありますが、また別のものですか。

(回答) 詳細は不明ですが、一般によく活用されている地震情報や豪雨予報等の情報提供されるアプリ紹介と使い方になると思います。

- ・去年だったか、うちの町や隣の町から役員さんがみんなを回って、いろんな災害が来たときに、これを見ながら情報を知ってくださいとライフナビの周知をしていたと思います。少し心配なのは、その教えていただけるアプリとライフナビと二つあったら、聞きに来られる方が混乱されないかなと思いました。

(回答) 災害のときに使えるアプリの紹介・活用ということですので、ライフナビとは違うものと認識しているのですが、教育委員さんのご心配はきちんと担当者にも伝えながら、混乱が生じないように内容を検討したいと思います。

- ・私は加西市の防災のことに 대해서는このアプリというように統一したらいいと思います。自分自身は二つもアプリがあっても、使いこなせなくて困るので、それだったら一つにしておいてほしいなという思いもあります。ただ、これは自分の勝手な想像だけで、やってみないとわかりませんが。

- ・当然、防災課もされているし、そういうツールがいろいろあるほうが、緊急のときに対応できるのかなと思うのですが、うちの村の中でも何軒か電波が来てない家庭があったりして、その対応から始めないといけないというような話もしたことがあります。ツールがいっぱいあるとややこしいですが、逆に自分が使いやすいものを選んで使っていただくようにして、興味のある方には参加していただきたいと思いました。

- ・火事がありました、洪水が起きていますと言われたら、加西の LINE とライフナビと兵庫県の災害情報と三つあります。そして今回のアプリを入れると四つになってしまうという心配もあります。

(回答) 新たに何か通知アプリを入れるということではなくて、あくまでも一般的によく利用されているアプリの紹介だと思っています。講座の際には、加西市が導入

しているライフナビ等のことは、改めて周知させていただこうと思います。

総合教育センター所長

令和5年度問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について報告します。

暴力行為について1,000人当たりの発生件数は、令和4年度と令和5年度の県平均はあまり差がありませんが、加西市は前年度より増加しています。これはささいな事案も暴力行為として報告したことも、要因の一つだと考えています。事案のほとんどは軽はずみな言動から言い争いになり、自らの感情をコントロールできなくなり暴言や暴力に発展したものです。中には何度も繰り返している事案もあります。そのため児童生徒の発達段階や特性を捉え、発達段階に応じたコミュニケーション能力の向上、ふだんの生活からルール、マナー、モラルを大切にする指導や様々な活動を通して、思いやりや助け合いの心を育む指導を継続していくことが大切だと考えています。引き続き小さな事案も積極的に認知し、発達支援アドバイザーやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携して、被害者の心のケアと継続的な関わりを行います。また、加害者本人と保護者への指導の方向性を話し合うことで、個に応じた指導、支援につないでいきたいと考えています。

いじめにつきましては、令和4年度よりも全国、県とも認知件数が増加しています。これは重大事態の未然防止のため、小さな事案でも積極的に認知する取組みが関係していることも一つの要因です。加西市においては全国、県の発生率を下回っていますが、令和4年度より認知件数が増加しています。今後も日常的な教職員と児童生徒の関わりを大切にしながら、SOSを発信できる児童生徒の育成が必要です。さらに、重大事態の未然防止のためにいじめの定義を再確認し、定義にのっとった積極的認知を継続して行うよう周知徹底を行うとともに、早期発見、早期対応、組織的対応による「いじめ見逃しゼロ」を目指していきます。

最後に、不登校については、全国、県の割合と比べても加西市は多いです。また、90日以上欠席が増加しており、前年度から継続している不登校生は、小中学生とも不登校生の半数以上になっています。学校がスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、発達支援アドバイザー等と連携し、児童生徒の課題や背景を積極的に受け止める校内支援体制の充実や発達段階に応じた個の支援が必要です。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と連携し、切れ目のない支援を行うことも必要です。学校においても担任を中心に家庭訪問、オンライン授業等の様々な支援を行っています。しかし、不登校児童生徒が抱えている課題は様々であり、別室登校を希望する児童生徒がいても、対応し切れていない現状があります。社会的自立に向け多様な学びと支援の場が必要であり、教育支援センターのふれあいホーム、各中学校の校内フリースクールや小学校のサポートルームの役割が大きくな

っています。不登校児童生徒の社会的自立を目指し、いかに学校が保護者や支援員と連携しながら支援していくかが重要であると考えています。

教育委員の質問と回答

- ・暴力行為の分析のところでは、加西市は前年度より増加していて、「ささいな事案も暴力行為として報告したところも要因の一つである」と書いてあります。これはもともとささいな事案は報告しなかったのに、この年度に限ってささいな事案を報告するようになると言われたということですか。

(総合教育センター所長の回答) いいえ、それは継続しています。

- ・今までもささいな事案を報告してくれていたが、今年度はささいな事案も含めて増えているということですか。特に変わった報告の指示をしていたわけではないけれども、増えたということですか。

(総合教育センター所長の回答) はい。

- ・ということは、結局、増えた原因というのは何なのですか。

(総合教育センター所長の回答) 様々です。

- ・去年やおとしは同じ子がずっと繰り返すというのはよく聞いていましたので、それが一つの要因にも挙げられるのは、去年以降ですか。去年以前ですか。

(総合教育センター所長の回答) 同一生徒による繰り返しというのも、一つの要因だとは考えます。

- ・仮に例えば同じ子が 10 件しまったと、その 10 件をこのデータから差し引いたら、去年と比べてどうなのかというデータを出すのは、なかなか難しいのですか。

(総合教育センター所長の回答) 令和 3 年ぐらいから同一生徒による繰り返しの調査が始まりましたが、単純に引き算で出るものではないと思います。

- ・本当にささいな少しコツンと当たったものも、結局は一つになるのですよね。

(総合教育センター所長の回答) そうですね。たたいたという表現が当てはまるものは、全て暴力行為として報告してくださいということで学校に周知しています。

- ・私も聞きたかったことなのですが、少しでもコツンと当たったものをたたきましたというのは、本人から言って一つとなるのか、それとも教師が「たたいているな」として計算するのですか。

(総合教育センター所長の回答) 教師が判断しています。正直けんかで報告しているような事案でも加西市は暴力行為として報告させていただいています。

- ・ もう一回お聞きしたいのですが、ささいな事案も報告するというのは数年前から同じようにしているのですよね。だから、増加した原因はそこではないということですよ。ささいなことも報告するという報告方法は変わったわけではないなら、前年度より増加した原因というのは、先ほどおっしゃったような一人の子どものことがかなり大きく影響しているということですか。その辺は分析していますか。

(総合教育センター所長の回答) 同一児童生徒による繰り返しも、大きな要因だとは思いますが。

- ・ ずっと同じ児童が同じことを繰り返していること、それがカウントされているというのは聞きました。だから、私は多分それが積み重なっているのではないかと考えて見ていました。それと、先ほど言われたように、たたいたか、そうでないかの判断基準というのが、定まっていないうのも多分あるのではないかと思います。その辺の基準は難しいところなのですが。

(教育長の回答) 問題行動を含めた発生件数の増減というのは、たまたま起こっている一過性のものなのか、それとも何か要因があって起こっているのかというのは、正直まだ分析できていないところがあると思います。問題行動全体で見ると、前にも教育委員さんにご報告したように、中学校では減っていて、小学校では増えています。これについても正直、なぜ今そういうふうになっているのか、来年も同じ傾向でいくのかということですが、はっきりとした要因があればそれが言えるのですが、実はそれがあまり明確でない状態でそうになっています。だから、今後はしっかりと子どもの様子や状況を見て分析をし、対応しなければならないところは対応していくということが必要だと思っています。それで、今後、報告させていただくときに、併せて今はこんな状況ですとか、こんな原因が考えられますというようなことも、また報告させていただきたいと思います。

図書館長

監査委員の指摘事項について報告します。11月27日に定期監査を受け、先週、監査委員より監査の報告並びに指摘事項をいただいております。委員の皆様には先般メールにてお送りした内容のとおり、県下の図書館の開館状況や電子図書館の導入、あるいは人件費を初めとする経費の節約などを踏まえ、休館日を設けてそれによって生み出された財源を活用して、図書館の利便性向上や読書活動の推進のさらなる充実に努めていただきたいという内容です。

今回の指摘を受けて図書館としましては、まず休館日を設けた場合、そのことによって得られる効果あるいは不都合なことなどを調査、検討してまいりたいとまずは考えております。それを受けてその先の検討としていきたいと考えております。

教育委員の質問と図書館長の回答

・私もこれを読ませてもらいましたが、本当に難しく、どちらも考えられると思いました。例えばかつて休みがあった頃、図書館に行ったときに「あ、しまった。今日は休みだった」というようなこともありました。今はほぼ開いているので安心していつでも行けるという状況があります。ただ、監査委員が言われるように人件費や光熱費はかかるので、ほかの図書館のように休館日を設け、その分を図書の充実などに使っていくということも大事なことです。どちらが本当にいいのかというのは、みんなでよく相談して決めていかなければいけないと思ったところです。ですから、監査委員が言われるからするのではなく、できるだけいろいろな方の意見を聞いて、図書館の充実や市民サービスということでどちらがいいのか、十分に検討していただきたいと思っています。

・電子図書が始まったのは令和4年度からですね。年間の来館者数は、電子図書がスタートしてから何パーセントぐらいダウンしましたか。

(回答) 来館者数については、令和4年度と5年度を比べますと、令和5年度のほうが上がっています。図書館の一般的な指標としては来館者数や貸出冊数があるのですが、貸出冊数についてはあまり伸びていません。電子図書の影響があるのかと思います。

・図書館は私も年に2、3回ぐらい行くのですが、とにかく勉強している学生がすごく多いというイメージです。これは私の勝手な意見かもしれないですが、そのことを踏まえて、それプラス図書館に働く職員の働き方改革なども考えながら決めていったらいいのではないかと思います。そのためにもデータをまず集めたほうがいいと思います。ただの想像だけでは納得する人はなかなかいないと思うので、データで根拠を導き出しながら、どうするかを考えたほうがいいと思います。例えば、電子図書になってから貸出数はどうなったのか、1、2か月でもいいので何人ぐらいの子どもたちが勉強をしに来ているのかなど、いろいろなデータを導き出してから、考えたらいいのではないかと思います。

何でも言われたからというのではなく、データを重視していけばすぐに答えが出て、監査委員にも根拠データで導き出して話したほうが、早く話もまとまると思います。データを取るのは大変ですが、一度やってみたらどうかと思います。

・人件費が掛かるということもあるのですが、逆に言えば雇用創出に役立っているという考え方もできますから、本当に裏返しとして取れることがあります。本当にいろんな方の意見を聞きながら慎重に検討いただけたらと思っています。

・監査委員の意見には「もはや開館日数の多さを競う時代ではないと思われ」とありますが、開館日数が一番多いとかを競う時代があったのですか。

(回答) 兵庫県下を見ますと、この東播磨と北播磨地域では、加東市と多可町は週 1 回、2 回なりの休館日がありますが、それ以外の東、北播磨地域については全日開館です。県下その他の地域では、休館日が週 1 回あるというところがほとんどですが、一般的に開館日数を競うといった時代があったのかということはありません。

・監査委員の意見も大事ですが、慎重に十分に議論してから決めていただいたほうがいいという感じがします。

学校再編室長

泉小学校の開校準備委員会について報告します。昨日、第 5 回開校準備委員会を開催しました。協議事項については、まず泉小学校の校章のデザインの一次選考をしました。校章については 10 月 29 日から 12 月 10 日まで募集をしまして、150 名の方から延べ 174 件の応募がございました。その中で一次選考をしまして、5 番、110 番、163 番、165 番、166 番、173 番の 6 点を選びました。次回の開校準備委員会において校章を決定します。

次に、校歌についてですが、委員さんに推薦を依頼していたところ、泉小学校の出身者で現在も泉小学校で音楽を教えていただいている高濱莉乃さんの推薦がございましたので、高濱さんに校歌作成の依頼をしようと考えています。

それから、体操服の選定も行い、9 点の中から 3 点を選定しました。この 3 点については年が明けてから泉よつばこども園、それから四つの小学校で各 5 日間ずつ展示させていただき、児童や保護者の皆さんに投票もしていただいた上で、次回の開校準備委員会でその中から 1 点、体操服を決定します。

教育委員の質問と回答

・校章の件ですが、委員の方だけで先ほど言われていた六つの中から本当に最終的に決めてしまうのですか。

(学校再編室長の回答) 今選んでいる六つの中から 1 点を選ぶ前に、児童や保護者の方にアンケート調査をさせていただきます。それらの意見も参考にさせていただい

て、次の開校準備委員会にて決定をしていきたいと考えています。

- ・そのアンケートは児童、生徒だったらほぼ回答率100%だとも思うのですが、保護者の方の投票率が少し気になります。後から言われても困るから、強制でやったらいいいのではないかと私はいつも思うのですが。

(学校再編室長の回答) これは投票ではないですから、参考にさせていただくアンケート調査ということで、最終決定は開校準備委員会委員のほうで決定をさせていただきたいと考えています。

- ・開校準備委員会の委員さんを見ていつも思うのですが、データが少ないということが多いので、ある程度委員以外の保護者の意見というのも、今度こそは四つの学校ごとにデータを出したらいいのではないのでしょうか。

(学校再編室長の回答) そこはわかるようにします。

- ・何とか保護者の投票率を上げてほしいと思うのですが。

(教育長の回答) これは非常に難しい問題だと思います。というのも、全員投票とすると、申し上げにくい言い方になりますが、それほどそのデザインに対してあまり興味や関心のない方も、「どれか選ばないといけない」ということで当然選ばれます。そのときそうやって選ばれたものが本当にいいのかというのは、非常に難しいと私は個人的に思うのです。保護者の方に投票してくださいと呼びかけ、その思いを持って投票した方のほうの思いをやはり大事にすべきではないかと思います。全員とすると、そういう思いがある方もない方も一緒になってしまうので、そこはそういう部分も必要かなという思いがあります。

- ・四つの学校ごとの児童生徒の投票率と親の投票率のデータをつくって、開校準備委員会のときにかけたほうがいいと思います。日吉の委員の方は子どもの意見というのをずっと言っていましたから、充実したデータを出したら、多分意見も言われなんでしょうし、良い校章が選ばれると思います。委員会だけの集まりでは、「もうこれでいいか」というふうになりがちなのが心配です。四つの小学校区の児童生徒の意見はこうだったというのが入ってくると、良い話し合いになると思います。私が2、3回ぐらい委員会を聞いたときの感想ですが、何回も言うようですが取りあえずデータが必要です。

- ・校章のデザインの説明や創った人が中学生なのか、大人なのかという情報は、今まで出していないのですか。また、最後に準備委員会で六つの中から決めるときにも、そういう情報は一切出さないほうがいいのですか。要は例えばそれを選ぶときに、

中学生が創ったものを選びたかったという人もいるかもしれません。そもそもそういう情報が必要なのかはわかりませんが、そういうのはどうですかね。

(学校再編室長の回答) デザインについての説明は出します。年齢についての情報は出さないでおうと思っています。

- ・ 出さないほうがいいのかということですか。

(学校再編室長の回答) はい。

(教育長の回答) それについては検討しました。どちらも良い部分と悪い部分があります。その情報によってデザインではない部分で判断されることもあります。だから、今回は校章のデザインをメインで行くということで、そのようにさせていただいた経緯がありますので、そこを理解いただけたらと思います。

- ・ 校章については百七十何点応募していただいて、それぞれの思い、本当に子どもたちの素直な思いのあふれるデザインがあるのですが、半分絵みtainな感じで書かれているので少し校章には向きにくいというような作品もありました。でも、子どもたちがそれだけ参加してくれたというのはとても評価できると思います。今はどういうふうに考えてこの図案にしたかというその程度にとどまって、また委員さんで決めていただけたらいいと私は思いました。

それから、校歌の高濱莉乃先生についてですが、12月8日の加西市吹奏楽団のクリスマスコンサートでは、莉乃さんもピアノでコラボしていてとても上手でした。彼女は若いので子どもに近いというのもありますし、出身校でもあります。今、学校でもスクールサポーターとして勤めていただいていますし、そういう思いも校歌にしてくださるのではないかとということで、良い推薦かなと思いました。

体操服については、そのまま進めていただけたらと思います。

1.1 協議事項

なし

1.2 教育委員の提案

- ・ 統合中学校の設計のことについて、教育長への意見と要望です。現在、統合中学校の設計は設計業者とともに進めていて、当初の設計では先生が学校業務をする上で、また生徒が学校生活を送る上で改善すべき点が多々あったのですが、学校の先生や事務局の方等の改善意見により設計が改善され、現在はとてもよくなっていると実感しております。

しかし、先日の設計会議において参加者の中から、今後の設計工事が順調に進んでいくのか不安なところがある旨の意見がありました。私も同じように思うところ

があります。今までの設計の会議では設計図面の訂正がとて多くあり、基本的なところの設計が教育委員会の想定しているのとは異なる設計になることが度々あり、学校の先生や事務局の方など多くの方々が、多くの時間を費やしてその設計図面をチェックし続けているのが現状であり、今後の設計工事が順調に進んでいくのかとても不安です。学校建設は大規模な事業であり多額の税金を使う事業でありますので、事務局におきましては設計業者に対して今まで以上に厳しい目で設計業務をチェックし、指示をしていただきたいという要望です。

(教育長の回答) 委員のご指摘のとおり、中学校の設計におきましては業者案、そして実際に学校のご意見等を伺いながらやっているところですが、それぞれの思いもありまして、十分にまだまどくみ取れていないところがあることは事実ですので、そこら辺をしっかりと調整しながらやっていきたいと思っております。それにつきましては業者案が出てきましたら、できるだけ早く関係の方にお伝えし、中学校とも協議し、会議の場には教育委員会として指示をするというぐらいの強い形で話ができるかなというふうに思っておりますので、また委員の皆さん、ぜひよろしくお願いいたします。

- ・私も本当に同じ意見で、もうこれで決まりかけたのかなと思っていても、次に見ると、「あらまたここが変わっている」ということが多いので心配だとずっと思っていました。また、1時間、2時間でやるところに倍以上かかったりというのはとても心配になっていきますので、その辺をここは決めたら変えずに次へというように、先ほど教育長が言われたようにチェックをしながら1つずつ1つずつ潰していくような会議でしていけたら、もっとスムーズに行けるのではないかなと思います。よろしくお願いします。

- ・私も同じような意見を持っているのですが、逆に言えばそれだけ学校の先生に来ていただいて、校長先生方も図案を持って帰って先生方に下ろして、その声を聞いているというのはとても大事なやり方だと思います。多少時間がかかっていますが、あともう期限が決まっているという中で、面積が広がると予算の関係も出てきますので、それを何とかできるだけコンパクトで使いやすいということを目指して、毎晩、議論をし、大分煮詰まってきたとは思いますが、年明けに会議があると思いますが、大変ですけれどもよろしくお願いいたします。

(教育長の回答) 教育活動をするところですので、特に中学校については機能面等の部分をメインに、今後の加西市の教育の新たな出発点になるような学校にしていきたいと思っております。それと併せて今回の設計に関しましては、先ほど委員のお話もありましたように、学校現場のほうからは非常にたくさんの意見をいただき、ご意見いただけるような体制もつくっております。それが本当に教育活動に生かさ

れるようにしなければいけないと思っていますので、教育委員会としてしっかりと対応をしたいと思っています。

- ・統合中学校の今後のことですが、今後、中学生が自転車通学で通るルートが大きく変わると思います。統合中学校が開校して通学路が変わったときに、今まで通っていなかったところを自転車を通りだすということになるので、自転車通学の安全確保はとても重要になると思います。そこで、最近では周辺の市町村でも視認性の高い反射たすきを着ける人を見かけるようになりました。加西市について言えば高齢者は多く、今後も高齢化率は高くなっていくことは想像できるので、何とか反射たすきを導入できるか検討していただきたいと思っています。

(教育部長の回答) 反射たすきとはどんなものですか。

- ・蛍光のもので、要は昼間や夕方時間帯でも、姫路市などで歩いている子どもたちもしているのを見かけるので、あれは効果が結構高いのではないかと思います。

(教育長の回答) 車から夜の視認性をよくするようなグッズですね。たすきでやるのか、何かワッペンみたいなものがあるのか。

(教育部長の回答) 昼間も効果があるものですか。

- ・私が知っている限りですが、周辺の市町村でやっているところは昼間や夕方の明るい時間帯から徒歩の人も通学の人も着けて帰っているのをよく見かけます。これは調べていないのでわからないのですが、学校によってだと思いますが。ここ最近の傾向なのかもしれませんが、効果は結構高いのかと思うので、ほかの市がどうであろうと加西市は検討をしてみてはどうでしょうか。

- ・昼間でも光るのですか。

(教育長の回答) そうですね。近隣の市も全員に持たせているところは結構ありますので、その辺のところはまた他市町の状況も見えていただいて、対応いただけたらいいのかなと思います。

- ・一番怖いのは北条高校の子で、全く真っ黒なのでそばを通るのが怖いです。北条高校の子どもさんは少し指導していただきたいと思っています。夜8時、9時に自転車で帰る子がいるのは怖いです。

(教育委員の回答) わかりました。来月 PTA があるので、それについては私のほうから言っておきます。

(教育長の回答) 反射タスキというか、安全確保の件ですね。よろしく願いいたします。

- ・同じ点ですが、北条地区の子どもを除いて加西中、善防中、泉中などできるだけ統合中学に近いところは、今、教育委員も言われたように「変わる」と言いながら、北条高校の通学路とよく似たところを通ってくれたらいいのではないかと思います。それで、中学生と高校生が重なるような可能性も含め、予想される通学路を考えながら危険箇所、道路の安全点検を始めていかなければいけないと思います。先にも言いましたように最後の交差点を渡るあたりは、高校生と重なって非常に危険を伴う可能性が増えてくるので、あの辺りの対策も必要かと思います。

別の話になりますが、鶉野飛行場跡の新しい道の危険交差点に何とか信号がつくということを聞きましたので、それも一つの対策になるかと思っています。

- ・以前、総合教育会議で配布物の配布方法の改善のことが話に出ていたのですが、あの後の進展があれば教えてください。

(教育部長の回答) 管理職会でも情報共有し、前回の教頭会で議論させていただきました。方向性としては皆さんの賛同を得られていますが、何点か改善点もあります。大きな問題が二つありまして、一つはPTAの楽メを使うという形になると、PTAのお金でやっているものに市の広報物を流すのはどうかということです。もう一つは、全ての配布物が電子になると、なかなか見ないのではないかという意見がありました。そもそも市からの配布物なので、学校を経由せず市から送った方がいいのではないかという話もありました。そういったことを総合しますと、今後の検討にはなりますが、新しい校務システムが入りますので、市から一斉発信できる方法も検討材料としてはあるということです。今、そういった議論をしまして、何らかの方法で工夫や改善をしていこうとしている状況です。

1 3 今後の予定について

- ・令和7年第1回定例教育委員会 1月23日(木) 14:00～5階大会議室
- ・令和7年第2回定例教育委員会 2月25日(火) 14:00～1階多目的ホール

1 4 その他

- ・今回、定例市議会で何人かの議員の話を聞かせていただいたのですが、職員の働き方改革について質問されていたと思います。あの質問は私が2、3年前に質問したのとそのままだったような気がします。それで、1年経ってから学校教育課が職員の働き方改革の検討委員会を立ち上げ、できるだけ職員の負担を少なくしていくということで、教育委員会において一度、議決したと思います。議員の話を聞いて、あれから検討委員会は怎么样了のかと思いました。次回でいいので状況だけでも教えていただけたらと思います。データがあれば議員にも説明できるのではな

いかと思いました。

それを踏まえて、2年前だったか、保育士にアンケートを取ったと思います。そのアンケートも取りあえず見せていただいただけで、それ以降どのようなになっているか教えていただきたいです。例えばおむつの件は確かもう回収するようになったと思います。多分アンケートにも同じ意見があったと思うのですが、私はタブレットを使って少しずつでいいから働く時間や残業を少なくするという提案をしました。また、人間関係とかいろいろアンケートには書いてあったと思います。それから間が空いてしまっていますから、保育士から「アンケートは取ったけど、どうなっているのか」と何か言われていないのでしょうか。モチベーションが下がってしまうのではないかとことを思いました。

それで、忘れないうちに保育士にアンケートを取った事項について、教育委員会でこういう対策をしていきたいという回答をしてあげないといけないと思います。忙しいかもしれませんが、事務局でアンケートについて、どういうふうにやっていけばいいのかといういい案があれば、再度教えていただけるよう考えていただけたらと思います。私もタブレットの案を言い続けているので、私も考えてみます。

(こども未来課長の回答) タブレットの使用については、現状のハード環境では無理だということです。情報課からは LG 1 系の中では Wi-Fi 環境は整備費が高額で構築できないと言われています。タブレットになると有線ではないので、基本的に現状でタブレットは使えないということです。

- ・学校の働き方改革のこととか先ほどの配布物の業務改善のこともそうですが、効率よく何かしようとか働き方改革するときというのは、必ず多岐にわたって複雑で、すごい量があるので単発でそれぞれを改善するのではなく、できればその情報を集約して体系的に、教育に関してはこういう方向に行く中で今、この課はこういうことをしているとか、常に今後の具体策のことも含めてこの問題は出てくると思うので、もうちょっとその組織として動ける体制というか、組織をつくるまで大変ですが、働き方改革をしたら業務改善するのにもう少しやり方を検討していただきたいと思います。

(教育長の回答) 先ほどもありましたように、来年度から新しい校務支援システムが入り、今まで紙で出していたいろいろな届等はデジタル化されることになります。それは教育委員会全体で行う一つの改善になると思います。それから、今年からコピー機も全ての学校に同じものを入れ、こちらで全部購入等も同じ状況で行うことになりましたので、それぞれの学校が買うという手間も減らしつつ進めていくというようなところで、できるところから改善していくことができると思います。

ただ、委員が言われたようないわゆる Wi-Fi 環境整備というのは、本当に市の予算との関係もございます。来年度、学力学習状況調査は教室にて全員がパソコンで

入れるのですが、実は果たして今の加西市の Wi-Fi 環境で全員一遍にできるのかという問題があります。ただ、それを更新すると本当に何千万、何億というようなお金がかかってくることになるわけです。システムの更新は非常にお金がかかります。校務支援システムも入れるのにお金がかかりますが、市のほうにご理解いただいて今度入れることになります。そういうこともできるだけ改善しながら進めていきたいですし、今、委員が言われたようにできるところは全体としてやったほうが効率はいいですし、各学校の取組みでは限界がありますので、対応できるところから取組んでいきたいと思っていますところです。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和 6 年 12 月 24 日

出席者

(出席者署名)